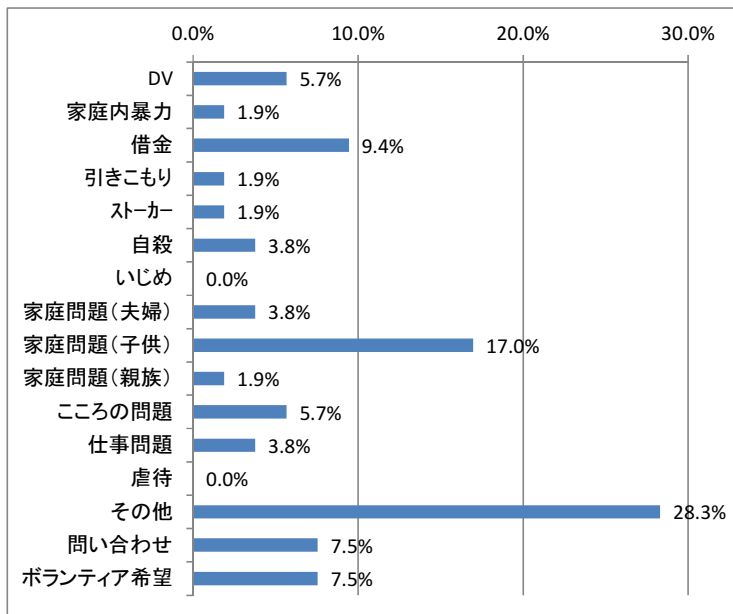


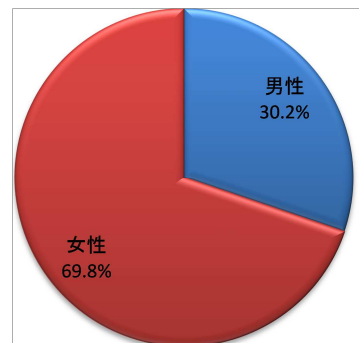
【7月の相談レポート】

今月は仙台国分町駆け込み寺から ～ずっとそこにあった苦しみ～

7月7日に開所した仙台国分町駆け込み寺。すでにさまざまにご相談が寄せられています。



【図1】国分町駆け込み寺相談案件内訳（7月）



【図2】国分町駆け込み寺相談者性別内訳（7月）

国分町駆け込み寺開設から3週間余り。図1が国分町駆け込み寺に寄せられた相談内容の内訳です。

図2のとおり、相談者は女性が約7割。年代はお答えいただけなかった方が多く、傾向を示すほどの集計はできませんでしたが、比較的高齢の方が多かったようです。

国分町駆け込み寺の開設前からお問い合わせの電話をくださり、面談の予約をされた方もいらっしゃいました。住職の齋藤公志によると「ずっと誰にも聞いてもらえなかった。」「相手にされなかった。」という方が大半だったそうです。

宮城県と聞くとすぐに連想されるのは「東日本大震災」ですが、今回震災にからむご相談はあまりなかったようです。これはちょっと意外な気がしました。震災を機に苦しんでいる方の相談が多いのではないかと、勝手に想像していました。ですが、国分町駆け込み寺に寄せられた相談は、そのほとんどが震災が起きる前からずっと抱えていた悩みです。

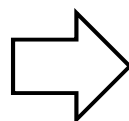
苦しみはずっとそこにあったのです。当たり前なことなのに、震災という大きな出来事に目を奪われ、もともとそこにあった生活を忘れがちになる自分を反省しました。

もともとそこにあった生活から生まれた苦しみも、震災で生まれた苦しみも、日本駆け込み寺は全力で救いたいと考えています。

この夏は被災地まで車を走らせ「出張駆け込み寺」を行ないます。

駆け込み寺のステッカーが目印です。

気軽にお声をかけてください。



悩み事や困り事があったら日本駆け込み寺へ。ご相談は、以下の電話番号からどうぞ。

◆新宿歌舞伎町駆け込み寺：03-5291-5720

◆仙台国分町駆け込み寺：022-395-7740